

安城市みらい創造研究所 のこと教えます

本市は、4月1日に県内で初めて市役所の内部組織に設置する自治体シンクタンク「安城市みらい創造研究所」を設立しました。

研究所の使命とは

「市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できる」ための政策提言をすること

安城市みらい創造研究所
専門研究員・博士(学術)

西尾祥子さん

重点的に取り組むことについて
調査研究

◎市民幸福度(※)の向上

本市の地域特性や市民の声を正確に把握し、新たな幸福度指標によるまちづくりを検討していきます。
※次ページ参照。

◎次期総合計画に掲げるまちづくり

研究所が示す将来の展望・まちづくりのあり方を、次期総合計画における将来ビジョン(基本構想)の骨子として反映させていきます。

◎リニア中央新幹線開通による影響・可能性(リニアインパクト)

2027年(平成39年)に東京・名古屋間でリニア中央新幹線の開通が見込まれ、今後大きな影響を与えることが予想されます。これまでの既存組織の枠組みを超えた、組織横断的かつ裾野の広い調査研究を進めていきます。

互恵(5K)きらめきプロジェクト(左図参照)

「市民幸福度」の向上のため、「互恵(5K)きらめきプロジェクト」を進めます。



「市民幸福度」の「幸福」は、健康(Kenka)、環境(Kankyo)、経済(Keizai)「きずな(Kizuna)」ことも(Kodomo)を視点とする5つのKが、市民生活においてバランス良く満たされることによって、多くの市民が互いにその恵みを受けることができるものとなりました。

■研究テーマ

「互恵(5K)きらめきプロジェクト」のキーワードを軸に、次の3つの研究テーマを設定しました。

●豊かな人生を育む「健康都市」の実現 市民「自ら」が健康意識

を高められる、地域特性を活かした環境整備について検討するとともに、さまざまな人と人の「つながり」が、どのように健康に影響を与えるかを調査し、本市に最も適した政策の在り方を研究します

●地域の明日を拓くみらい世代の育成

若い世代が本市を居住の場とするとともに、安心して子どもを産むことを選択し、みらい世代が豊かに育まれるための環境づくりについて研究します



●生活の質を高めるユニバーサルシティ(※)の構築

人やモノ、エネルギーの動きに着目し、市民の生活の質と効率性を高めるための「人にやさしい」交通ネットワークの在り方や「環境にやさしい」都市構造について本市のあるべき姿を研究します
※ユニバーサルシティとは、生活の質と効率性を高めるための「人」と「環境」にやさしい都市構造のこと。

「安城市みらい創造研究所」設立記念フォーラム報告

4月17日に市教育センターにおいて開催し、約180人の皆さんに参加いただきました。

■基調講演「大都市圏戦略と地方自治体」／講師↓安城市みらい創造研究所スーパーバイザー奥野信宏氏(中京大学教授)



(要旨)安

城市は新幹線の駅があり、高速道路へのアクセスも便利で、空港へも1時間以内で行けるなど、全国的に見ても非常に恵まれた条件にある。これを強く認識し、安住せず、未来の状況に危機感を持ち、それを生かした地域づくり、まちづくりを進めていかなければならない。

■ゲスト講演「自治体シンクタンクの果たすべき役割」／講師↓牧瀬稔氏(一財)地域開発研究所主任研究員／東京都

(要旨)これからは市役所全

体の政策形成機能の強化や職員のスキルアップが必要である。また、みらい創造研究所は使命である「市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できる」ための政策提言をしていくことから、なかなか研究を進めていかなければならない。

■パネルディスカッション「自治体が抱える課題」めざすべきまちづくり、行政の役割／コーディネーター↓加藤義人氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))

パネラー↓奥野氏、牧瀬氏、安城市みらい創造研究所政策アドバイザー秀島栄三氏(名古屋工業大学教授)

(主な意見)「恵まれた環境にあり、成長を続けている安城市にどんな危機があるのかを見つけることが研究所の役割」みらい創造研究所には名前のとおり、これまでの課題の解決だけではなく、未来を創ることを進めてほしい」などの意見をいただきました。

問▶みらい創造研究所(☎71)2299)